

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成27年11月13日
【四半期会計期間】	第37期第3四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	グリーンランドリゾート株式会社
【英訳名】	GREENLAND RESORT COMPANY LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江里口 俊文
【本店の所在の場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	経理部長 寺田 尚文
【最寄りの連絡場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	経理部長 寺田 尚文
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第3四半期連結 累計期間	第37期 第3四半期連結 累計期間	第36期
会計期間	自平成26年 1月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 1月1日 至平成27年 9月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 12月31日
売上高 (千円)	5,776,836	6,225,374	7,518,582
経常利益 (千円)	153,082	457,684	268,633
四半期(当期)純利益 (千円)	91,703	297,457	171,424
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	101,531	337,481	198,321
純資産額 (千円)	10,363,778	10,715,328	10,460,569
総資産額 (千円)	21,494,681	21,721,947	21,691,223
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	8.87	28.77	16.58
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	48.2	49.3	48.2

回次	第36期 第3四半期連結 会計期間	第37期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 7月1日 至平成27年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.95	27.37

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におきましては、九州・北海道ともに遊園地やホテルが好調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,225,374千円（前年同期比7.8%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益は481,722千円（前年同期比148.1%増）、経常利益は457,684千円（前年同期比199.0%増）、四半期純利益は297,457千円（前年同期比224.4%増）となり、これまでに開示している第3四半期の連結決算では各利益項目で過去最高を記録しました。

	前第3四半期 連結累計期間 (千円)	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	5,776,836	6,225,374	448,538	7.8
営業利益	194,203	481,722	287,518	148.1
経常利益	153,082	457,684	304,602	199.0
四半期純利益	91,703	297,457	205,754	224.4

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

遊園地セグメント

九州の遊園地では夏休みが概ね好天に恵まれたことや今年は9月に6年ぶりの大型連休となったこと、「ハイキュー」等のイベントの集客効果により、第3四半期で入園者数が大幅に増加し、累計で前年を上回る結果となりました。

北海道の遊園地ではゴールデンウィークや夏休みの繁忙期に好天に恵まれ、アトラクションの新規導入やリニューアル効果に加え、「妖怪ウォッチ」等のイベント効果もあり堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比407,569千円増収（+13.0%）の3,536,407千円となり、営業利益は前年同期比183,643千円増益（+52.8%）の531,519千円となりました。

ゴルフセグメント

3ゴルフ場におきましては、円安傾向により韓国の来場者及び会員権販売が順調に増加したこと、施設の整備による顧客満足度の向上に努めたことにより、当セグメントの売上高は前年同期比40,816千円増収（+5.8%）の748,705千円となり、営業利益は6,675千円（前年同期は営業損失22,987千円）となりました。

ホテルセグメント

九州のホテルでは夏休みをはじめ客室稼働が好調であったことにより宿泊料飲で売上が増加したこと、北海道のホテルでは宴会の取り込みが順調であったこと等により、当セグメントの売上高は前年同期比105,438千円増収（+6.7%）の1,688,047千円となり、営業利益は83,826千円（前年同期は営業損失22,059千円）となりました。

不動産セグメント

不動産セグメントにおきましては、土地賃貸収入の減少により、売上高は6,993千円減収（-5.8%）の113,517千円となり、営業利益は前年同期比2,583千円減益（-3.6%）の68,430千円となりました。

土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントにおきましては、前期で一部受注工事が終了したことにより、売上高は前年同期比98,293千円減収（-41.5%）の138,696千円となり、営業利益は前年同期比26,592千円減益（-64.7%）の14,482千円となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

流動資産は、616,137千円（前連結会計年度末比118,701千円減少）となりました。主な要因は、現金及び預金で113,053千円減少したことによるものであります。

固定資産

固定資産は、21,105,809千円（前連結会計年度末比149,425千円増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の機械装置及び運搬具で231,063千円増加したことによるものであります。

流動負債

流動負債は、4,402,430千円（前連結会計年度末比13,899千円増加）となりました。主な要因は短期借入金で251,878千円減少したものの、営業未払金で147,293千円、未払法人税等で102,166千円増加したことによるものであります。

固定負債

固定負債は、6,604,188千円（前連結会計年度末比237,933千円減少）となりました。主な要因は社債で100,000千円増加したものの、長期借入金で258,411千円、長期預り金で84,749千円減少したことによるものであります。

純資産

純資産は、10,715,328千円（前連結会計年度末比254,758千円増加）となりました。主な要因は利益剰余金で214,757千円、その他有価証券評価差額金で40,024千円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,346,683	10,346,683	東京証券取引所(市場第 二部) 福岡証券取引所	・権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式 ・単元株式数 100株
計	10,346,683	10,346,683	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	10,346,683	-	4,180,101	-	4,767,834

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 9,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,335,800	103,358	-
単元未満株式	普通株式 1,683	-	-
発行済株式総数	10,346,683	-	-
総株主の議決権	-	103,358	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式(失念株式)が300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
グリーンランドリゾート(株)	熊本県荒尾市下井手 1616番地	9,200	-	9,200	0.08
計	-	9,200	-	9,200	0.08

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,610	160,556
受取手形及び売掛金	221,125	235,902
商品及び製品	16,399	37,337
原材料及び貯蔵品	61,887	51,994
販売用不動産	7,130	7,130
繰延税金資産	9,351	26,760
その他	149,726	102,803
貸倒引当金	4,393	6,347
流動資産合計	734,839	616,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,269,533	4,140,590
機械装置及び運搬具(純額)	387,158	618,221
土地	15,097,749	15,101,500
その他(純額)	207,730	192,029
有形固定資産合計	19,962,171	20,052,342
無形固定資産		
その他	228,924	226,744
無形固定資産合計	228,924	226,744
投資その他の資産		
投資有価証券	308,968	364,175
繰延税金資産	303,326	302,797
その他	154,092	160,849
貸倒引当金	1,100	1,100
投資その他の資産合計	765,287	826,722
固定資産合計	20,956,383	21,105,809
資産合計	21,691,223	21,721,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,839	89,651
営業未払金	92,679	239,972
短期借入金	3,739,446	3,487,568
未払金	291,773	271,432
未払法人税等	33,997	136,164
賞与引当金	-	38,418
その他	147,795	139,223
流動負債合計	4,388,531	4,402,430
固定負債		
社債	-	100,000
長期借入金	3,499,736	3,241,325
長期預り金	3,116,591	3,031,842
退職給付に係る負債	8,356	7,538
その他	217,438	223,482
固定負債合計	6,842,122	6,604,188
負債合計	11,230,653	11,006,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,462,633	1,677,390
自己株式	2,992	3,015
株主資本合計	10,407,576	10,622,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,992	93,017
その他の包括利益累計額合計	52,992	93,017
純資産合計	10,460,569	10,715,328
負債純資産合計	21,691,223	21,721,947

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,776,836	6,225,374
売上原価	5,138,407	5,300,140
売上総利益	638,429	925,234
販売費及び一般管理費	444,225	443,511
営業利益	194,203	481,722
営業外収益		
受取利息	33	30
受取配当金	4,253	4,541
受取賃貸料	2,863	2,894
受取保険金	1,442	1,343
補助金収入	-	10,642
雑収入	3,623	4,548
営業外収益合計	12,216	24,000
営業外費用		
支払利息	52,680	46,864
雑損失	657	1,174
営業外費用合計	53,338	48,038
経常利益	153,082	457,684
特別利益		
固定資産売却益	5,400	945
特別利益合計	5,400	945
特別損失		
固定資産除売却損	5	2,532
ゴルフ会員権評価損	45	-
特別損失合計	50	2,532
税金等調整前四半期純利益	158,431	456,097
法人税、住民税及び事業税	60,334	174,250
法人税等調整額	6,394	15,610
法人税等合計	66,728	158,639
少数株主損益調整前四半期純利益	91,703	297,457
四半期純利益	91,703	297,457

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,703	297,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,828	40,024
その他の包括利益合計	9,828	40,024
四半期包括利益	101,531	337,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,531	337,481
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

保証債務

銀行提携ゴルフローン契約先の会社等の金融機関借入金について、次のとおり保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
ゴルフ会員権購入資金	4,644千円	2,232千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
減価償却費	315,432千円	314,976千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月25日 定時株主総会	普通株式	62,025	6	平成25年12月31日	平成26年3月26日	利益剰余金
平成26年8月8日 取締役会	普通株式	31,012	3	平成26年6月30日	平成26年9月2日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月30日 定時株主総会	普通株式	51,687	5	平成26年12月31日	平成27年3月31日	利益剰余金
平成27年8月7日 取締役会	普通株式	31,012	3	平成27年6月30日	平成27年9月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,128,838	707,888	1,582,609	120,510	236,989	5,776,836	-	5,776,836
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,432	8,528	18,733	4,740	8,154	43,588	43,588	-
計	3,132,270	716,416	1,601,342	125,251	245,144	5,820,425	43,588	5,776,836
セグメント利益又は損失()	347,875	22,987	22,059	71,013	41,074	414,916	220,712	194,203

- (注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 221,553千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,536,407	748,705	1,688,047	113,517	138,696	6,225,374	-	6,225,374
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,670	8,446	19,239	6,512	5,792	43,661	43,661	-
計	3,540,078	757,151	1,707,286	120,030	144,489	6,269,035	43,661	6,225,374
セグメント利益又は損失()	531,519	6,675	83,826	68,430	14,482	704,933	223,211	481,722

- (注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 223,875千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8.87円	28.77円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	91,703	297,457
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	91,703	297,457
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,337	10,337

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成27年8月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

中間配当による配当金の総額	31,012,416円
1株当たりの金額	3円
基準日	平成27年6月30日
効力発生日	平成27年9月1日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月9日

グリーンランドリゾート株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 行一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金子 一昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているグリーンランドリゾート株式会社の平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、グリーンランドリゾート株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。